

現代の国語

学習目標



科目：現代の国語
履修：1年
共通 2単位

読み書き能力の向上により、言語生活の充実と発展とをめざす。

論理的文章の読解により、思考力と問題意識の深化をめざす。

古典的文章の読解能力を身につけることにより、伝統的文化への理解を深める。

言語運用能力の向上により、思索する力とコミュニケーション能力の発達をめざす。

年間授業計画

月		学 習 単 元		学 習 事 項 等
前 期	4	評論（1）	実践的活動（1）	【現代文】 『ことばとは何か』『身体、この遠きもの』『＜私＞時代のデモクラシー』等、評論文の表現形式の特色と、その内容について、正確な理解を目指す。授業に集中して、提出された問題を考察し、意欲的に学習する態度が必要である。 【実践的活動】 自分の意見を文章にまとめたり、自分が読んだ本の魅力を紹介したりする活動を通して、他者に自分の意見や考えをわかりやすく伝えることを目指す。
	5			
	6	評論（2）	実践的活動（2）	
	7			
9				
後 期	10	評論（3）	実践的活動（3）	【現代文】 『マルジャーナの知恵』『名づけと所有』『開かれた文化』等、抽象度の高い評論の読解を目指す。言語によって、人間は世界を解釈し、また世界のなかで自分を表現する。そこにはたらく言葉を正確に理解することにより、言語運用の主体としての自己を育てていくことが目標である。 【実践的活動】 対比の構造を捉えながら読んだり、あるテーマについて議論したりする活動を通して、視点の違いを考えながら主張を組み立てていく力を身に付けることを目指す。
	11			
	12	評論（4）	実践的活動（4）	
	1			
	2			
講習	必要に応じ、補習等を設定する。			
評価の方法	定期テストの結果を中心に、小テスト・課題・補習等を通して、学習への意欲と達成度とを見て、総合的に評価する。			



推薦図書・参考書

『読書術』加藤周一（岩波現代文庫）
 『日本語を書く部屋』リービ英雄（岩波現代文庫）
 『私家版日本語文法』井上ひさし（新潮文庫）
 『私家版文章読本』井上ひさし（新潮文庫）

言語文化

学習目標



科目：言語文化
履修：1年
共通 3単位

読み書き能力の向上により、言語生活の充実と発展とをめざす。

古典的文章の読解能力を身につけることにより、伝統的文化への理解を深める。

言語運用能力の向上により、思索する力とコミュニケーション能力の発達をめざす。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 古文入門 随筆	【古文】 『児のそら寝』『伊勢物語』等、有名作品を題材に、古典文法の基礎である用言の活用を正確に理解することを目指す。予習・復習を通して確実に知識を身に付けることが必要である。 【漢文】 『訓読入門』『故事』等を題材に、漢文訓読の方法を正確に理解することを目指す。積極的に声に出し、何度も繰り返して音読することが必要である。 【現代文】 『余が言文一致の由来』『物語る声を求めて』等、現代につながる近代語の変遷、口承の物語と近代文学の違いについての理解を目指す。授業に集中して、提出された問題を考察し、意欲的に学習する態度が必要である。
	5 漢文入門 故事	
	6 随想	
	7 物語	
	9 史伝 随想	
後 期	10 日記 和歌	【古文】 『土佐日記』『徒然草』『平家物語』『和歌』等、本格的な古文を読解し、時を隔てた古人のものの見方や考え方を学ぶ。助動詞、助詞、敬語法が学習の中心となる。 【漢文】 『史伝』『論語』『唐詩』等、本格的な漢文を読解し、描かれている人間の本质や古人の知恵を学ぶ。主要な句形の学習が中心となる。 【現代文】 『小諸なる古城のほとり』『夢十夜』等、詩や小説の表現形式の特色を味わいながら、その内容についての正確な理解を目指す。
	11 史伝	
	12 詩	
	1 軍記 思想 漢詩	
	2 小説	
講 習	必要に応じ、補習等を設定する。	
評 価 の 方 法		定期テストの結果を中心に、小テスト・課題・補習等を通して、学習への意欲と達成度とを見て、総合的に評価する。



『古文の読みかた』藤井貞和（岩波ジュニア新書）

『漢文の読みかた』奥平 卓（岩波ジュニア新書）

推薦図書・参考書

国語

の学び方

展開の仕方は授業者によって異なる場合もあるので、年間授業計画は、共通の標準的な骨子を示したものである。進度や教材の扱い方が違ってても、学習の要点や学び方は同じである。

(1) 科目学習の手引き

国語ができるようになることとは、言葉を身につけることである。身につけた言葉によって、様々な書物を読み、世界の構造についての理解を深める。そして、言葉で考えることにより自分の心の世界を広げていく。正確に言えば、自分の心の深さ・大きさと世界のそれとは釣り合っている。自分の持つ言葉の容量の程度しか、世界は自分に現れてこないからだ。豊かな心と貧しい心、それは自分の責任である。

授業に集中することと、授業に触発された旺盛な読書力とが、国語の教室では要求される。国語の知識は言葉の知識であり、言葉なしでは感じ考えることはできないのだから、言葉の力は思考力そのものと言ってよい。断片化され細分化された「知識」をいくら記憶したところで、国語の「学力」とは言えない。同じ事柄についてであっても、表現の仕方は様々である。その表現の相違に応じて、対象は新たな姿を見せる。繊細かつ強靱な言葉の持ち主は、世界の、自分の心の、ずっとはるかな場所に行く。授業とは、その旅立ちに向けての準備の場である。

要約しよう、国語の学習に必要なことは、

- ①授業に集中すること。
- ②授業で興味を持ったことを、積極的な読書で深めていくこと。
- ③異質の言葉（他者の言葉）との出会いによって、自分の言葉を深め、創造すること。

である。

(2) 科目履修と進路選択の関係

国語の力は、すべての教科での「学力」の基礎である。君たちの進路は無数にある。しかし、たとえば言葉の貧しい医者に診てもらいたいとは思わないだろう。言葉の豊かさを持つことは、その人の信用につながってゆく。世界は膨大な人間の構成する、複雑な現実の集合体だ。そこに切り込んで真実を見いだしていく言葉の体系は、繊細かつ強靱でなければならないのである。世界の複雑さに釣り合うだけの繊細さと、世界の深さに届くだけの強靱さを備えた言葉の体系を、「学問」というのである。断片的な知識、その場限りの点数稼ぎの知識、世界の人々の幸不幸に関わるどころのない知識、新しい自己の創造に役立たない知識は、学問とは呼べない。感じ考える主体として、自分を大切に育てる場が学校であり、国語学習の意味も、そこにある。

辞書案内

国語の授業目的が、言葉を知り、そしてそれを育て鍛えることであるなら、辞書はもっとも大切な道具と言える。高校生となったなら、自分だけの辞書を持つ必要がある。予習の重要さは言うまでもないが、授業中、そして復習にも辞書は欠かせない。学習用を中心に紹介する。

(国語辞典)

- ・新明解国語辞典（三省堂）
収録語数の多さと語義解釈の斬新さに特色がある。言葉を生きものとしてとらえた腕の冴えがある。
- ・明鏡国語辞典（大修館）
学習用という点で、よく配慮された辞書。使いやすしい、まことに行き届いている。
- ・岩波国語辞典（岩波）
基礎語の説明に詳しい。造語成分である漢語の説明も適切で、言葉の本格的理解へと導いている。

(古語辞典)

高校生としては「例解」「全訳」と銘打ったものを

選ぶとよい。ただし、予習で全訳に頼りすぎると力がつかないので注意。岩波の古語辞典は定評があるが、初学者には使い勝手が悪く薦められない。

- ・全訳全解古語辞典（集英社）
- ・全訳古語辞典（角川書店）
- ・全文全訳古語辞典（小学館）
- ・例解古語辞典（三省堂）

(漢和辞典)

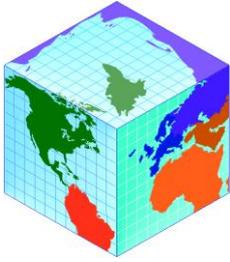
コラムが充実している、重要語に説明が加えてあるなど、読んで面白そうな辞書を選ぶとよいだろう。

- ・新漢語林（大修館）
- ・漢字海（三省堂）

なお、最近は電子辞書を活用する生徒も多い。携帯性・利便性を考えるとそれもよいだろう。ただし、内容に注意して選ぶこと。例えば「デジタル漢語林」が入っているものと、単なる「漢字辞典」のみのものがある。「漢字辞典」だけでは、高校の授業では不足するだろう。

地理総合

学習目標



科目：地理総合
履修：1年
共通
2単位

地理総合の学習目標は、現代世界を理解し、地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培うことにより、国際社会に主体的に生きる人としての資質を養うことにある。そのためには、身近な「もの」や「地域」から世界全体に至るまで、また、自然的な内容から経済・社会・文化に至るまで、社会に生起するあらゆる事象について関心を持ち、自らの五感を通じて考え、行動することが必要となる。

年間授業計画

月	学習単元	学習事項等	
前期	4	地図と地理的技能 地図化してとらえる現代世界の諸課題 さまざまな地図、図法	
	5	身近な地域の調査 学校所在地を調べる・フィールドワークの基礎 日比谷高校周辺の地理	
	6	現代世界の系統地理的考察 自然環境	地形からみた世界 大地形、小地形
	7		・2万5000分の1地形図 ・身近な地域の調査や、地図の読図や作図などを通じて、 地理的技能や、地理的な見方や考え方を養う。
9			
後期	10	気候からみた世界 熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯、寒帯の自然環境	
	11	資源と産業 農林水産業からみた世界	
	12	エネルギー資源・原料資源からみた世界	
	1	工業からみた世界	
	2	人口と村落・都市 人口問題・村落機能・都市形態からみた世界 ・現代世界を系統地理的にとらえる視点や方法を身に付ける。	
講習	特になし。		
評価の方法	定期考査（年4回） 各試験範囲ともに、50分の試験を100点満点で行う。 提出物（学校周辺の巡検、地形図、夏休みの課題等） 課題に対してどれだけ誠実に取り組み、自ら考え、行動し、表現したかを評価する。 日常の授業における意欲や、参加態度も評価の対象である。		



推薦図書・参考書

『はじめての動物地理学』増田隆一（岩波ジュニアスタートブックス）
 『人とミルクの1万年』平田昌弘（岩波ジュニア新書）
 『地形図を読む技術 新装版』山岡光治（サイエンス・アイ新書）
 『三つの石で地球がわかる』藤岡換太郎（BLUE BACKS）
 『図解 気象学入門 改訂版』古川武彦。大木勇大（BLUE BACKS）

地理総合 の学び方

(1) 教室で —「教科書」は二つ！—

地理の教科書、実は二つある。一つは、いわゆる普通の教科書、そしてもう一つは「地図帳」である。「地図帳」は、文部科学省の検定を経て作成されている立派な教科書であり、地理の学習で重要な役割を果たしている。ぜひ、この第二の教科書である「地図帳」を有効に使ってほしい。授業中に指示されて開くだけでなく、常に意識して授業に関連するページを開いたり、わからない場所があれば、積極的に調べたりする習慣を身につけてほしい。

(2) 外へ出て —新たな発見—

外へ出る、そこは地理の学びの宝庫である。地理は、地表に生起するすべての現象を学習対象としている。学校の行き帰りだけではなく、外へと出たならば、目に映るすべてのものに興味を持ってみよう。例えば、日比谷高校へ登校するには必ず坂を上ることになる。なぜ日比谷高校の周辺には坂が多いのだろうか。地下鉄の駅に着く、赤坂見附や永田町の駅はなぜ現在の場所に設けられたのだろうか。疑問に思ったことは、自ら追究してみよう。そうして今までは見えていなかったものが、見えるようになってくるのである。

(3) 自宅で —テレビを見よう！—

自宅でテレビを見ていれば、早く勉強しなさいとしかられる。しかし地理の学習には、このテレビが欠かせない。国際化の進展の著しい現在、世界各地の様子を伝えるテレビ番組は、ニュース番組も含めて非常に多くなってきている。授業で取り上げられた、あるいは今後取り上げられる地域が、テレビ画面に登場する機会も非常に多い。百聞は一見に如かずである、地球儀や地図を手元に置いてテレビを見よう！自宅でテレビを見ながら学べる、こんなに素晴らしい科目はない。

◆科目と学部学科・職業等との関係

「地理」は、大学の学部・学科では、文学部（大学によっては理学部）などに設置されている「地理学科」と最も密接なつながりを持っている。しかし「地理」は、近年非常に多く新設されている「国際」・「環境」・「地域」・「文化」などのことばが含められた学部や学科とも深いつながりをもっており、これらの学部や学科で「地理」を学ぶことができることも多い。

また「地理」は、世界や日本の諸課題に関する様々な事象を総合的に分析し、考察していく学問であり、そのような中で身に付けられた「地理的な見方や考え方」は、将来のどのような職業においても、必ず大きな力となるはずである。

“地理の達人”への道

永田町にあるのになぜ「日比谷」高校？

日比谷高校の所在地は、千代田区永田町二丁目である。それでは、なぜ永田町にあるのに日比谷高校なのだろうか。それは、日比谷高校の前身である府立一中が1929（昭和4）年に、現在地に移転してきたからである。移転前の府立一中は、現在は法務省関係の建物がある、日比谷公園の西側に面したところに位置していた。そして第二次世界大戦後の1950（昭和25）年に新たに校名が付けられることになり、かつての所在地であった「日比谷」の名が用いられることになったのである。

「日比谷」という地名の由来は？

ところで日比谷という地名は何に由来しているのだろうか。現在の日比谷公園一帯は、徳川家康が江戸に入府した1590年頃には、日比谷入江とよばれ、谷状の地域に海水が入り込んだところとなっていた。そしてこの入江には、「筵」（ひび）とよばれる海苔の養殖のための笹の葉が並べられており、そこから「日比谷」と名付けられたと言われている。

どうして引っ越しが行われたの？

では、なぜ府立一中は日比谷から引っ越すことになったのか。それは1923（大正12）年に起きた関東大震災が理由である。関東大震災は、首都東京に壊滅的な打撃を与えたが、それを契機として中央官庁が震ヶ関に集められることとなり、府立一中も移転を迫られたのである。

永田町が選ばれた理由は？

移転先にはいくつかの候補地があった。しかしその中から現在地が選ばれた理由は、高台に位置していたことと敷地の広さにある。学校には広い敷地が必要であったし、やはり教育には環境が大切であり、日当たりの良い高台が選ばれたのである。

“地理の達人”への道！

それでは、なぜこの地が高台であり、広い敷地が確保されていたのだろうか。なぜ？ どうして？ はまだまだ続くが、それこそが“地理の達人”への道なのである。なぜ？ どうして？ を常に追究し続けることこそ、「地理」の、そして学ぶことの重要な要素なのである。

歴史総合 学習目標



科目：歴史総合
履修：1年
共通
2単位

歴史総合は、現在に比較的近い近現代（19世紀以降）の歴史を主に扱い、歴史の大きな変化に着目して、世界と其中的の日本を広い視野から捉える科目である。すなわち、中学校で主に学んだ我が国の歴史と世界の歴史を合わせて理解すると共に、「主題」・「問い」の設定や資料の活用を通じて「社会的事象の歴史的な見方・考え方」を学ぶ。2年次の日本史・世界史探究、3年次の日本史・世界史演習につながる。

年間授業計画

月	学習単元	学習事項等
前期	4 前近代のアジア諸地域と日本 近世ヨーロッパ世界の展開 英・産業革命、アメリカ独立	まず、アジア諸地域（西アジア・南アジア・東南アジア・日本を含む東アジア）で繁栄したアジアの諸帝国を、次いで16世紀から19世紀のヨーロッパにおける世界の一体化及び「近代化」の前提となる諸要素（主権国家・工業化・国民国家）の発生過程を学び、さらに欧米諸国によるアジア諸地域の植民地化の状況を学ぶ。 18世紀以降の欧米における動向を踏まえて、開国・明治維新後の日本における立憲体制と国民国家形成を学ぶ。同時に欧米列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、帝国主義とアジアの変容を学ぶ。
	5 フランス革命	
	19世紀のヨーロッパ・アメリカ アジア諸地域の植民地化	
	6 日本の開国と明治維新 条約改正と産業革命	
	7 帝国主義時代と日本	
9	第一次世界大戦とロシア革命 戦後の国際平和と安全保障	第一次世界大戦の展開・大戦中の日本の経済成長・ロシア革命・米国の台頭、大戦後の国際協調体制を学ぶ。
後期	10 大戦間時代の世界 世界恐慌とファシズムの台頭	大戦後、アジア・アフリカの民族運動の高揚、欧米・日本での大衆の政治参加や大衆消費社会の出現を学ぶ。 世界恐慌が原因となって発生したファシズムや日本の対外政策が国際協調体制を動揺させ、その結果勃発した第二次世界大戦の経緯と影響を学ぶ。そして大戦後の国際連合・国際経済体制の成立、冷戦の開始とアジアの独立、日本の戦後改革と憲法制定、主権回復を学ぶ。
	11 日本の恐慌から 満州事変・日中戦争へ	
	12 第二次世界大戦と太平洋戦争 戦後の国際秩序と日本の改革	
	1 冷戦の展開と欧州の復興 第三世界の台頭	
	2 日本の高度経済成長 グローバル化する世界	
講習	今のところ予定していない。	
評価の方法	評価の対象となるのは、近代以降の「世界の中の日本」を理解する上で重要な、政治・経済・思想・文化などについての客観的かつ具体的な知識と理解度、世界と日本の歴史と文化を考察する力である。学習成績の評価については、①教科書、用語集の人物・事項・年号などの基礎的知識が正確に理解・習得されているか②そのことを踏まえて歴史の諸事項について考察を加え、適切な文章として表現できるか③近現代の歴史と現代の諸課題を結びつけ、未習範囲の内容も含めて主体的・積極的に考察し、さらに自ら課題を設定することができるかの3点をポイントとし、定期考査・課題レポート・日常の取り組み等から評価する。	



推薦図書 『世界の歴史』全30巻（中央公論社），『国境は誰のためにある？』中山大将（清水書院）
『神・墓・学者 考古学の物語』C. W. ツェーラム（中公文庫），『「連動」する世界史』南塚信吾（岩波書店）
『肉食の思想』鯖田豊之（中公新書），『砂糖の世界史』川北稔（岩波ジュニア新書），
『東アジアの「近世」』岸本美緒（山川出版社），『フランス革命』遅塚忠躬（岩波ジュニア新書），
『感染症の近代史（日本史リブレット）』内海孝（山川出版社），『歴史学ってなんだ？』小田中直樹（PHP新書）

歴史総合 の学び方

歴史総合の授業方法は、主に教科書・プリントを中心としたものとなるが、ICT教材も使用して、わかりやすく進めていく。どの担当者でも年間授業計画は共通であり、定期考査の問題も共通である。

(1) 問題を設定し、考えながら学ぶのが歴史総合

歴史総合は、「近現代」の歴史を扱い、さらに日本と世界の歴史を関連づけながら学ぶ科目である。そして「なぜこのような事件が起こったのか」・「この出来事がどのように歴史を動かしたのか」など、様々な問題設定を試みながら、考え学んでいくことになる。グラフや資料を読み解きながら、自ら歴史を構築することや、設定された問題に対する自らの考えを発表することも、授業の随所で行われる。基礎的な事項を理解しながら、考え学んでいくのが歴史総合なのである。

(2) まず「5W1H1R」を使って考えよう

とは言え、いきなり「問題設定」を試みるのが難しければ、まず「5W1H1R」を考えてみてはどうか。歴史学習では、「5W1H1R」(when, where, who, what, why, how, result)ということがよく言われる。これがいつ、どこで、誰が……ということとはわかるであろう。そのように考えていくと、学んでいく中で、前に述べたような「なぜ」という疑問が湧いてくるのではなかろうか。そしてその後どうなったかという疑問もついてくるであろう。すると、ある歴史事象の結果がまた原因となり、新たな歴史事象が起こり…というつながりもわかってくる。「なぜ」を呼び起こすところから、まずは考えて欲しい。日頃の出来事でも新聞などを読みながら、「なぜ」そうなったかと考えるのも良いのではないだろうか。

(3) 授業の受け方

授業には集中して臨み、授業内容を理解しながら、自ら考え、先生や友人の意見を聞き、自分の考えを修正し、新たな問いを立てながら進めて行こう。きっと新しい発見があるはずである。積極的な授業参加が望まれるのである。

◆科目と学部学科・職業等との関係

歴史総合で扱う範囲は、時間的には近現代が中心で、地域的には日本も含む世界全域を対象とする。そしてほとんど全ての学問と関係している総合学問である。大学の学部・学科では、史学科はもちろん、文学系統、人文学系統、法学・政治学系統、経済・経営・商学系統、さらには芸術学部における美術・音楽史、理学系での科学史とほとんどの分野と関係している。また、大学で学ぶ学問のほとんどが近代以降主に欧米で形成されており、将来大学で学ぶための基礎知識として、教養として、役立つものである。さらに、社会においての歴史的思考と歴史総合的視野も極めて重要と言えよう。

◆大学受験(受験科目)との関係

大学入試共通テストでの「歴史総合」は、「歴史総合・世界史探究」・「歴史総合・日本史探究」・「歴史総合・地理総合・公共」という組み合わせで出題されることになっている。いずれにせよ、2年次に学ぶ「世界史探究」・「日本史探究」とつながることになるので、しっかりと学習に取り組もう。

“歴史総合の達人”への道

歴史総合で学ぶ歴史学とはどのような学問なのだろうか。もちろん、日本を含めた世界の諸地域でどのような出来事が過去に起こったのかを学ぶと表現することはできる。しかし、過去の出来事を感じるのが歴史学なのかと言うと、そうでもなさそうだ。『歴史とは何か』(清水幾太郎訳、岩波新書、1962年)の著者でイギリスの歴史学者であるE・H・カーは「歴史とは、歴史家と彼が見出した事実との相互作用の不断の過程であり、現在と過去との間の尽きることを知らぬ対話」とする。これは一体どういうことだろう。

ところで、今私は過去の出来事を学ぶと書いたが、過去の出来事、歴史上の事実(史実)は無数に存在する。これをすべて記述することはまず不可能だ。それは日記を書く時に一日に起こった出来事すべてを書けないのと同じである。とすれば、日記を書く時に何を書こうかと選ぶ視点が存在するように、歴史にも過去のどの出来事を選んで、どのようにつなげるかという視点が必要なのは当然である。

歴史学者は必ずそのような視点を持って歴史を叙述している。やや難しく言えば、我々が学ぶ歴史の裏には、史実と史実をつなげる何らかの構造が潜んでいるのである。

とすれば、「歴史総合の達人」への道とは、史実の裏にある構造を読み取る力、自らの歴史を見る力を習得するところにあると私は考えている。そのためには、授業では常に「何でそうなったのか」「歴史の裏に何が潜んでいるのか」を考える、すなわち様々な「つながり」を読み解く姿勢を続けることが必要となる。そして、そのうち(いや今日からでもよい!)こういう風に出来事をつなげると、別の歴史像が作れるじゃないか、こんな歴史もあったと発見できるようになれば、達人はすぐ目の前である。歴史総合を通して、洞察力や構成力が身につくことを切に祈っている。

公 共

学習目標



科目：公共
履修：1年
共通
2単位

公共は、今までに学んだ人間や社会についての見方・考え方や学習の中で身に付けた資質・能力を用いながら、現実社会の諸課題の解決に向け、社会とのかかわりを踏まえ、社会に参画する主体として自立し、他者と協働してよりよい社会の形成者となる資質・能力の基礎を身に付けることを目標としている。社会の一員としてよりよく生きるための社会生活にかかわる基礎的・基本的な知識の習得とその活用である思考・判断・表現などの能力を磨き、課題解決能力を高める。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 公共的の扉 ・公共的な空間を作る私たち	・青年期／個性と人格／多様性と共通性／自己実現／ 伝統や文化／宗教 などについての基本的事項を学び、 人間としての在り方について考察する。
	5	
	6 ・公共的な空間における 人間としてのあり方生き方 ・環境保護 ・生命倫理	・幸福、正義、公正／環境保護／生命倫理／ 現代思想の源流 などの概略について学び、自己の選択・ 判断の手掛かりとして現代の諸課題を意欲的に追究する態 度を養う。
	7	
9	公共的な空間における基本原理	・人権思想／民主政治の基本的原理／法の支配／自由権利 と責任義務／世界の政治体制／日本国憲法の基礎にある考 え方などについて理解し、公平・公正の観点から考察する。
後 期	10 自立した主体としてよりよい 社会の形成に参画する私たち ・法にかかわる事項	・法や規範の意義および役割／契約と消費者／司法参加の 意義 ・政治参加と世論の形成／地方自治／国家と安全保障／ 国際貢献 ・職業選択／雇用と労働問題／財政と租税／社会保障／ 市場経済／金融／国際経済 以上の事項を学びながら、現代社会でよりよく生きるため に必要な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を身に付け る。
	11 ・政治にかかわる事項 ・経済にかかわる事項	
	12	
	1 持続可能な社会づくりの主体と なる私たち ・課題探究活動と発表	・これまでに学習したことに基づいて自ら課題設定をし、 探究活動を行う。また探究の過程や成果を各グループごと に発表する（プレゼンテーション）。
	2	
講 習	希望者対象として、夏季休業中や学校行事の振替休業日などに官公庁見学などを実施している。	
評 価 の 方 法	年4回の定期考査と、グループワークや討論への取り組み、発表や探究課題を評価の材料とする。評価対象となるのは、教科書の基本的事項についての客観的な知識と理解の程度、ならびに正確な知識と理解に基づいて資料などの情報を正確に読み取り判断し、多面的・多角的に考察し、他人に理解されうるように意見を表明する表現力。そして自己の倫理的主体としての活動に必要な情報を、諸資料から調べまとめる技能である。その他主体的に学習に取り組む態度の評価では、提出課題の内容や相互評価、各自のポートフォリオなどを手掛かりとする。	



推薦図書

- 『赤頭巾ちゃん気をつけて』 庄司薫（新潮文庫）
 - 『戦後経済史 私たちはどこで間違えたのか』 野口悠紀雄（日経ビジネス人文庫）
 - 『あらためて教養とは』 村上陽一郎（新潮文庫）
 - 『日本の思想』 丸山真男（岩波新書）
 - 『読書について』 小林秀雄（中央公論社）
- ※著者はすべて日比谷高校の先輩です。

1年数学

学習目標



科目： 数学Ⅰ・数学Ⅱ
 数学A
 履修： 1年 共通
 数学Ⅰ 3単位
 数学Ⅱ 1単位
 数学A 2単位

数学Ⅰについては、方程式、不等式、2次関数および図形と計量について理解させる。

数学Aでは、図形の性質、場合の数と確率および数学と人間の活動について理解させる。

数学Ⅱでは、式と証明、複素数と方程式および図形と方程式の分野を理解させる。

いずれにおいても、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力と事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

年間授業計画

月	学 習 単 元		学 習 事 項 等		
前 期	4 5 6	[数学Ⅰα] 数と式 二次関数	[数学Ⅰβ] 集合と命題 図形と計量	[数学Ⅰα] 整式の加減乗除・展開・因数分解・ 実数・平方根・1次不等式 関数とグラフ・2次関数のグラフ・ 平行移動・対称移動・2次関数の最 大最小・2次関数の決定・2次方 程式・グラフと2次方程式・2次不 等式・いろいろな関数のグラフ	[数学Ⅰβ] 集合・命題と条件・命題と証明 三角比・三角比の相互関係・三角比の拡 張・正弦定理・余弦定理・三角形の面積
	7 8 9	二次関数 式と証明 (発展的な内容)	図形と計量 データの分析	3次式の展開と因数分解・二項定理 ・整式の割り算・分数式とその計算 恒等式・等式の証明・不等式の証明	代表値・散らばりと四分位偏差・分散と標 準偏差・相関・変量変換・最小2乗法
後 期	10 11 12	[数学A] 場合の数と確率	[数学Ⅱ] 複素数と方程式	[数学A] 集合の要素の個数・場合の数・順列 ・円順列・重複順列・組合せ・事象 と確率・独立な試行の確率・反復試 行の確率・条件付き確率・期待値	[数学Ⅱ] 複素数・2次方程式の解と判別式・解と 係数の関係・剰余の定理と因数定理・高 次方程式
	1 2 3	図形の性質 数学と人間の活動 (整数の性質) 数列 (発展的な内容)	図形と方程式 三角関数	三角形の辺の比・三角形の外心・内 心・重心・チェバの定理・メネラウ スの定理・三角形の辺と角・円周角 ・円に内接する四角形・円と直線・ 方べきの定理・2つの円の位置関係 ・作図・直線と平面・多面体 約数と倍数、素数と素因数分解・最 大公約数と最小公倍数・整数の割り 算・ユークリッドの互除法・1次不 定方程式・記数法・合同式 等差数列とその和・等比数列とその 和・和の記号Σ・階差数列、いろい ろな数列の和	直線上の点・平面上の点・直線の方程式・ 2直線の関係・円の方程式・円と直線・2 つの円・軌跡と方程式・不等式の表す領域 一般角と弧度法・三角関数・三角関数のグ ラフ・三角関数の応用
講 習	夏休みの課題として『夏物語』を課す。夏期講習として『夏物語』の解説講習を計画。 土曜講習を年8回程度計画。				
評 価 の 方 法	定期考査、課題の提出、問題演習での発表の内容等を総合的に判断し、別紙『数学科「数学Ⅰ・A・Ⅱ」で育成する資質・ 能力』にならい、評価する。				

1 年数学

の学び方

春休み中に数学 I の第 1 章の内容に関する宿題を課し、予習がなされた状態で数学 I をスタートするので、自宅において計画的に勉強する習慣を確立すること。

(1) 授業で理解する

予習を前提とした授業を行う。予習で曖昧な部分を授業で理解する。予習をせず、ただ授業を聞くだけ、ノートをとるだけ、黒板を写すだけという受け身の状態に陥ることなく、積極的に授業に取り組む姿勢がまず望まれる。

ノートの作り方や書き方にも工夫を凝らし、復習やテスト勉強時に有効に活用できるようにする。

授業の予習や復習を十分に行うことが、理解の定着に際し大きな要因になる。

(2) 家で深める

家庭での演習時間を確保することは極めて大切である。授業で行った内容の復習のために、傍用問題集(サクシード)で演習をし、理解を深めると同時に、疑問を抱き、その疑問を解決していく。

傍用問題集で解けない問題は、参考書で類似問題を見つけ、それを解きながら解決する習慣をつける。

十分な復習により、理解を定着させるとともに、予習も大いに望まれる。

◆ 羅針盤

ほとんどの生徒が難関国公立大学進学を希望している状況を踏まえ、シラバスに基づき、進度と内容を調整した授業を展開する。

さらに、基礎・基本の補習、土曜講習、夏期講習など多様な講座を設置し、希望実現のための環境整備を行っている。

どうやって勉強の計画を立てるか、各自でよく考えてほしい。

◆ 大学受験(受験科目)との関係

大学入学共通テストにおいては、国公立大学の多くが数学 I A を必須科目としている。

理系学部の受験に際しては、受験科目としての数学(数学 II・B、数学 III・C までを含む場合においても)の基礎を担うことは言うまでもない。

1 年次に学習する数学 I、数学 A、数学 II の内容は、高校の数学全般における基礎である。

その内容自体が、国公立大学といくつかの私立大学の大学入学共通テストに直接関わり、また難関国公立大学の受験科目、一部の私立大学文系の地歴・公民に代わる選択科目として、文系学部の受験にも大きな比重を占めることになる。

(3) さらに深める

授業においても、できる限り演習の時間を確保するとともに、大学入試の基本、標準レベルの問題に手が届くくらいの実力を養成できるよう、補講を行う。

一方、平常の授業の内容の理解を補助する意味での補習も行い、それにより理解の曖昧さを解消する。

『数学がおもしろくなる 12 話』岩波ジュニア新書

12 のトピックを題材に、授業で扱っている内容から、少し寄り道をして数学に対する興味を刺激してくれる内容まで紹介されている。高校で学習する事柄には説明が書かれている。

『数学センスをみがこう(基礎編)』NHK 出版

NHK 高校講座「基礎数学」をもとにして作られた本。日常生活の中で、数学的な考え方や知識が使われている例が紹介されている。

『偉大な数学者たち』ちくま学芸文庫

高等学校の数学で学ぶことがら、2500 年にわたってどのように研究・発想されてきたかが書かれている。ピタゴラス、ニュートンなど中学生でも知っている数学者から、高校で学習する内容に登場するデカルト、オイラー、ガウス、また理科でも登場するガリレイ、ケプラー、パスカルらが 20 人以上取り上げられている。数学の学習内容が、どのような流れの中で生まれてきたかがわかり、興味をもって授業に取り組める。

「SSH入門」科目

地学基礎

学習目標



科目：地学基礎
履修：1年
共通
2単位

地学は内容によって物理・化学・生物学的分野にまたがるなど総合科学的な面をもっている。このことから本校では地学基礎を「SSH 入門科目」と位置付けている。宇宙の誕生から現在の地球に至るまでを時間的・空間的な広がりの中でとらえ、観察・実験等も行いながら、基本的な概念や原理・法則を理解し、地学的な見方や考え方を養うことを目的とする。

年間授業計画

月	学習単元	学習事項等
前期	4 1. 地球の姿	地球の形と大きさ
	5 2. 活動する地球	地球の内部構造 プレートテクトニクス (前期中間考査)
	6	地震
	7	火山活動
9		火成岩 鉱物の性質と分類 (前期期末考査)
後期	9 3. 大気 of 構造	大気圏 地球上の水
	10 4. 太陽放射と大気・海水の運動	太陽放射エネルギーと地球放射エネルギー 地球の熱収支 大気の大循環 海水の循環
	11 5. 日本の天気	季節変化を左右するもの 日本の四季の気象
	12 6. 地球の誕生	宇宙の誕生 太陽の誕生 (後期中間考査)
	12 4. 地球と生命の進化	太陽系の誕生 地球の誕生
	1 5. 地球史の読み方	地球型惑星と木星型惑星 地質時代 地層の形成
	2	先カンブリア時代 顕生代 (後期期末考査)
3 9. 自然との共生	地球環境と人類 自然災害	
講習等	希望者を対象に秋に地質巡検を行う予定である。	
評価の方法	年4回の定期試験のほかに、授業中の実習レポートの提出と、オンラインによる課題の配信・提出がある。評価対象は、基礎的・基本的事項の理解度と知識の程度、さらにそれらを科学的な文章として表現できる能力までを含める。また、図やグラフから情報を正確に読み取る力や科学的に判断できる力についても重視している。	

【推薦図書・参考書】



- 『Q&A 火山噴火』 日本火山学会編 (講談社ブルーバックス 1326)
- 『生命と地球の歴史』 丸山茂徳・磯崎行雄 (岩波新書 543)
- 『やさしい気象教室』 島田守家 (東海大学出版会)
- 『太陽系大紀行』 野本陽代 (岩波新書 1279)
- 『新しい高校地学の教科書』 杵島正洋・松本直記・左巻健男 (講談社ブルーバックス 1510)

地学基礎

の学び方



(1) 「地学基礎」について

「地学」とは「地球科学」の略である。しかし、高校地学で扱う内容は、地球だけにとどまらず、地球と宇宙についても幅広く扱う。

1年次の地学の授業は、基礎科目であるため、広く浅い内容となっており、核心的な部分はほとんどが発展扱いとなっている。しかし、本校での授業では、項目によっては教科書の発展項目も積極的に扱い、深く掘り下げて学習していく予定である。

(2) 「地学基礎」の特徴

「地学基礎」では、地球という惑星の特徴、そこに生存する生命の歴史や地球環境の歴史などについて学ぶ。地球上で起こる現象は、実験によって再現できるものは少なく、観察や観測のほかに、モデル実験やシミュレーションといった手法も重視される。また自然界ではさまざまな現象が複雑に絡み合っており、総合的な視点も必要になってくる。

(3) 授業の受け方・勉強の方法

授業中に全ての内容を理解することは難しい。きちんと復習を行い、理解できなかった点を解決して次の授業に臨むこと。さらに疑問に思ったことを積極的に自分で調べたり質問したりするなどして理解を深めて欲しい。

地学の学習では、思わぬところで過去に学習した事項や今後学習する事項、他の授業で扱った内容などと関連していることが多い。そのような関連性を整理しながら学習していくことも大切である。

地学に限らず、学問は授業だけで完結するものではない。授業で学んだことをきっかけに、自分でさらに膨らませていく欲しい。

◆科目と学部学科・職業等との関係

近年の環境問題は自然界の事象の関連性に対する不理解が原因となっていると考えざるを得ないものも多い。本校では地学を含めて理科4分野を学習することによって物事を広い視野から総合的に見る目を養うことが出来る。このような学習から学ぶ事柄は、どのような進路を選ぶ際にも役立つはずである。

◆大学受験（受験科目）との関係

大学入試で地学基礎を課している私立大学は少なく、主に大学入学共通テストの選択科目の1つとして、特に文系生徒にとっては主要な選択肢の一つとなっている。地学基礎に限らず共通テストでは理科基礎科目は2つで1科目扱いとなっていることに注意したい。

日本の小惑星探査機は何を目指す？

2003年、日本の小惑星探査機「はやぶさ」が、種子島の宇宙センターから打ち上げられた。そして2年後、小惑星「イトカワ」に到達し、サンプルを回収した後、2010年、地球に帰還した。実は、私たちが「はやぶさ」という名前を知ったのは、ロケットが打ち上げられた後のことである（計画段階では「MUSES-C」と呼ばれた）。小惑星「イトカワ」も、もともと1998SFと呼ばれていた天体で、「はやぶさ」命名後、改めて目標天体として命名されたものである（名前の由来は日本のロケット開発の父・糸川英夫）。

打ち上げには成功したもののミッションはトラブル続きで、太陽フレアとの遭遇、イオンエンジンの故障、交信途絶・・・、これらの困難を乗り越え、「はやぶさ」は世界初の小惑星サンプルリターンに成功した。その逸話は映画にもなったほどである。持ち帰ったサンプルは日本各地の科学館などで一般公開された。

小惑星はどうして研究の対象となるのだろうか。太陽系は今から約46億年前に誕生したといわれている。しかしながら、太陽系誕生当時の物質は、現在の地球では発見することが困難である。「46億年」という数字は、地球に落下する隕石やアメリカNASAのアポロ計画によって地球に持ち帰った月の石の研究などによってもたらされたものである。しかし、小惑星は、月や隕石よりもはるかに高い確率で太陽系誕生当時の痕跡をとどめているといわれている。

2019年、2号機である「はやぶさ2」が、小惑星「リュウグウ」に到達した。はやぶさ初号機よりもはるかに多くのサンプルの採取に成功し、2020年12月に地球に無事帰還した。分析の結果、20種類以上のアミノ酸が見つかった。さらに現在も詳細な調査が継続中である。

「SSH基礎」科目

生物基礎

学習目標



科目：生物基礎
履修：1年
共通
3単位

生物や生物現象についての観察・実験を通して、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てる。

基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。観察・実験などの体験と科学的な自然観をもとに現代の生物科学の発展に興味・関心をもちえる能力を开花させる。また、理数探究の内容につなげていく。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 生物と遺伝子 生物の特徴 生物の多様性と共通性 生物とエネルギー 遺伝子とその働き 遺伝現象と遺伝子	顕微鏡を用いて観察・実験を行い、レポート作成の学習を通して、細胞の機能と構造・生物体の構造を学ぶ。 実験項目：顕微鏡の使い方・マイクロメーターを用いた測定・細胞の観察 酵素の性質
	6 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報とタンパク質合成	遺伝子の本体であるDNAの構造と働きを、自己複製と形質発現の視点から学ぶ。また、複製されたDNAが細胞分裂（体細胞分裂・減数分裂）の過程を通して各細胞に分配されるしくみを学ぶ。ゲノム分析や選択的スプライシング・発現調節など発展的な扱いも行う。 実験項目：DNAの抽出・だ腺染色体の観察 細胞分裂の観察
	7 ヒトの体の調節 体液とその働き	
	9	
後 期	10 生体防御 体内環境の維持のしくみ	体内環境と恒常性について体液の成分と働き、恒常性の維持について学ぶ（浸透圧・肝臓・腎臓・免疫等）。自律神経系とホルモンの働き、さらに、動物のからだについて発展的に扱う。 実験項目：鶏の心臓の解剖 血液凝固の観察 血球における浸透現象の観察 血球（赤血球・白血球等）の観察
	11 生物の多様性と生態系 バイオームの多様性と分布 バイオームの形成過程 バイオームの分布 生態系とその保全	
	12	
	1 生態系 生態系のバランスと保全	生態系および生態系のバランスと保全について発展的に扱う。
2		
講習等	SSH野外実習「生物臨海実習」・SSH 英語による分子生物学講座などを行う予定である。	
評価の方法	年4回の定期考査と、実験・実習のレポート、授業に参加する意欲などを参考に総合的に評価する。定期考査では、授業で扱った内容理解をもとに、新たな実験データの理解を試すような応用問題を含み、また実験レポートでは、指示された内容についてレポートするだけでなく、自ら発問し、さらなる調査・考察を期待する。	



推薦図書・参考書

- 『キャンベル生物学』N・A・キャンベル（丸善）
- 『生物と無生物のあいだ』福岡伸一（講談社現代新書）
- 『胎児の世界』三木成夫（中公新書）
- 『新しい発生生物学』木下圭，浅島誠（講談社ブルーバックス）
- 『物質と精神』利根川進（文春文庫）
- 『DNAの謎に挑む』渡辺政隆（朝日選書）
- 『ゲノムが語る23のものがたり』マツ・リドレー（紀伊国屋書店）

生物基礎の学び方

生物基礎は、遺伝子組換え・再生医療・病気・環境問題など、現代の課題を理解するための必要最低限の生物学の基礎となる科目である。以下の事項を参考に学んで貰いたい。

(1) 総合的に考える—生命とは何かを扱う科学—

授業は、生命現象の一部分を扱うにすぎない。そのため、授業内容がバラバラで、道筋もない印象をうける。

知識を断片的に増やすのではなく、生命体のどの部分、どのはたらきを学んでいるのかに留意しながら、過去の体験・知識を総合化する知的作業が必須である。

(2) 本当らしいことが科学

科学は、仮説を実証しつつ人類社会に知識と技術を提供してきた。仮説の根拠が崩れれば、実証のプロセスがあっても学説は変更される。つまり、理科の授業内容は「今のところ本当らしい」ということであって真理ではないかもしれない。

生物学をおもしろいと思った人は「理数探究」を2年次で選択し、で自らテーマを設定し、実験に取り組んでほしい。

(3) 授業の受け方

授業の項目を事前に見て、何を学ぶかを明確にし、今まで持ってきた疑問・教科書を読んで浮かんだ課題を明確にして授業にのぞむ。授業中に疑問・課題が解決できないときはすぐに質問する。質問は熱烈歓迎である。実験にはねばり強く参加する。「聞いたことは忘れる。見たことは覚える。いじったことは理解する。」

◆科目と学部学科・職業等との関係

「生物」は、少し前までは、理科の一分野としてとらえられていた。しかし、現代科学の発展は、高校でいえば保健・家庭・化学の科目、世間で言えば、医学・薬学・生物資源（農・水産）を広く生物科学として考えられるようになってきたからだ。（分子レベルでの生命現象の共通性が認められたことによる）。理系科目だったが、文理を問わず分野や職種を越えて広く修得されるべき、“必須”科目に変身しはじめている。生物未履修者に補習を課す大学もある。大学卒業後の就職においても生物関連職種は増えている。文系の人々にも生物学は必須の時代となった。

◆大学受験（受験科目）との関係

「生物基礎」は大学入学共通テスト「理科の基礎を付した科目」の一つであり、4単位の内の2単位の当たる。文系志望の選択科目として本校でも人気がある。理系に進むには、「生物基礎」に加え、「生物(4単位)」までの学習が大学入学共通テストと二次試験（記述試験）が必要である。文系の人々は、1年次で「生物基礎」と「地学基礎」の学習にしっかり取り組んでほしい。

(4) 自宅学習—広く深く・発展的に—

事前に教科書を読んでおくことは最低限のことである。授業をもとにして、発展的に生物図解やその他の本（参考図書・学習参考書）で理解の幅を広げる努力が欲しい。また、自然とふれる機会も重視したい。

何気なく図書館で生物・医学・薬学・農水産・家庭・保健のコーナーに行くのも勧めしておく。興味・関心を持つことが生物分野では最も重要である。

“生物学と世の中(1-1)”

クローン技術についての話題をはじめとして、最近では、狂牛病や環境ホルモンなど、生物に関係する新しい問題がいろいろクローズアップされています。

高校で学んでいる生物が、単に教科書の中だけのものではなく、いかに日常や社会生活と結びついた学問であるかがよくわかります。もちろん授業ではこうした問題を中心に学ぶわけではありませんが、教室で学んだ視点でこうした社会問題を考えてみると、また違った見方ができると思います。

例えば「環境ホルモン」の作用は、生物学だけではなく化学とも関係するもので、この仕組みを考えてみるだけでも、生物学が我々の生活と切り離せない学問であり、みんなが考えている以上に刺激的なものだということがよくわかります。

環境ホルモンは、正式には「外因性内分泌かく乱化学物質」といいます。動物のホルモンと、作用が非常に似ている化学物質のことで、これが「生体内に取り込まれると、本物のホルモンのまねをしたり、邪魔をしたりして、その生体内のホルモンの作用を乱してし

まう」ので、この名がついています。環境ホルモンという言葉が生まれたのは1997年頃のことです。その研究はまだ始まったばかりと言っていいでしょう。

現在、環境ホルモンと疑われている物質は農薬のDDTやPCBなど約70種類あって、猛毒のダイオキシンなどもその中のひとつです。これらの物質による考えられる野生動物の変異はかなりはっきりと認められています。DDTや農薬の影響を受けたアメリカのフロリダ州の湖でのワニのオスの生殖器の矮小化や、カリフォルニア州や五大湖のPCBなどで汚染されたマスを食べたカモメ類のメス化などはその代表例です。日本では、有機スズの影響とみられるイボニシなど巻き貝の雌雄同体化などの事例があります。

ホルモンというのは甲状腺とか脳下垂体とか私たちの体の中で作られますが、それが体の中を回って特定の受容体にくっついて遺伝子に作用して働くものです。以前はホルモンは1対1で特定の受容体にしか作用しないというように考えられていました。

(1-2 へ続く)

保健体育科

学習指導計画



体育

年間授業計画

体育の学習目標

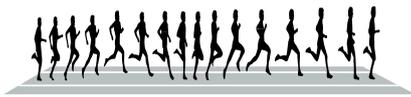
体力・運動能力の発達を促すとともに、運動技能やルールの学習を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、現在及び将来の自己の状況に応じて体力の向上及び健康の保持増進を図ることができるようにする。また、社会性を養い安全に留意して生涯にわたってスポーツを楽しむ態度を育成することで、将来にわたって豊かなスポーツライフの実現を図る。

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）		
体育	1	共通必修	2	現代高等保健体育 （大修館書店）			
	2	共通必修	3				
	3	共通必修	3				
学習の留意点	<p>○自己の体力や生活に応じた課題をもって運動を行う。 ○運動に対する関心や意欲を高め、互いに協力して運動ができるようにする。 ○選択授業において計画的に練習を行い、自ら考え、工夫して授業に取り組めるようにする。</p>						
単元	1 年			2 年		3 年	
前期	オリエンテーション						
	4	*男子*	*女子*	*男女*	*男女*	*男女*	*種目選択* ☆陸上競技
	5	ラグビー	バレー	☆選択Ⅰ バスケ 卓球	☆武道・ダンス 柔道・剣道・ダンス	☆必修Ⅰ テニス バドミントン サッカー	☆選択Ⅰ バレー テニス サッカー
	6					☆選択A バレー バスケ 卓球	☆選択Ⅱ バドミントン バスケット 卓球
	7					体育理論 体カテスト	体育理論 体カテスト
	9						体育理論 体づくり運動
	10	バレー	サッカー	☆選択Ⅱ テニス バドミントン アルティメット	*男女* ☆武道・ダンス 柔道・剣道・ダンス	☆必修Ⅰ テニス バドミントン サッカー	☆選択Ⅲ バレー テニス サッカー
	11					☆選択B バスケ バレー 卓球	☆選択Ⅳ バドミントン 卓球 サッカー
	12	持久走	持久走	持久走			
	1 2 3	体づくり運動	体づくり運動		体づくり運動		
評価の方法	1. 学習の到達度、2. 学習への取り組む姿勢、3 役割の理解と指導性 これらを評価の観点とし、種目毎に総合的に評価する。						

体育を学ぶにあたって

<種目>

- ①測定・・・前期に全学年、スポーツテストを実施します。3年間の推移を見ることができます。
- ②選択・・・各学年の授業において、種目選択及び男女共習の授業を一部、導入しています。体育館・テニスコート・グラウンドなどに分かれ、授業を展開しています。



◆体育・スポーツと進路選択

☆保健体育の教員

体育学部、スポーツ健康科学部、教育学部・保健体育科専攻等に進学すると中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状が取得できます。その後、教員採用試験を受験し、合格・採用されると教員になることができます。

☆スポーツトレーナー

スポーツトレーナーといってもさまざまな分野があり、それぞれの長所を生かし活動しているのが実態です。基礎的知識を習得し、さらに職業として考えるのなら日本体育協会のアスレチックトレーナーのコースを習得するか、鍼灸師の資格を取得するなどの専門技術を身につけることが必要です。

☆マスコミ・出版・スポーツ関連マーケット

最近、オリンピックや各種国際大会などでスポーツに対しての社会的関心が高まる中、スポーツを商品あるいは社会経済的対象として捉えようとする分野が拡大しています。経営学、社会学を基礎として修め、TV、新聞、スポーツ関連の出版等、将来はさまざまなスポーツビジネス界で活躍できる注目される分野です。

“体育の達人”への道

“からだを使って脳を鍛える”

脳の訓練とは、「頭をつかえば、頭がよくなる」ということである。筋肉をつかうことで筋肉が増強されるのと同じで、脳も積極的につかうことで訓練されるのである。もちろん、学校生活でも脳を積極的につかいたいものである。

ところで、「頭をつかう」というとなにかを深く考えることだけのように思いがちだが、そうではない。脳は、外部から情報を取り入れ、それを総合的に判断して全身をコントロールする司令塔である。そこで、脳に情報を送り込む身体を鍛えることが、脳を鍛えることにもつながる。

筋肉は、脊髄から出ている運動神経の情報を受けて収縮し、骨を動かすが、収縮の精度を高めるために、脊髄から出る筋紡錘という感覚神経もまた筋肉につながっている。筋肉を動かすと、筋紡錘からの感覚神経が情報を脊髄に送り、運動神経を微調整する。

これが筋紡錘からの情報の本来の目的だが、それだけにとどまらず、脊髄から上位の脳に上がり、脳幹、小脳、大脳新皮質を刺激し、脳の活動を高める。

すべての筋肉運動に脳を活性化する効果があるが、

その程度にはちがいがあがる。筋紡錘から脳への情報の強さは、筋肉の太さに比例する。筋肉でもっとも太いのは大腿筋であるから、ウォーキング、ジョギング（走る、駆け足）など、大腿筋をつかう運動が脳の働きをもっとも効率よく高めることになる。そのほか、腕立て伏せ、柔軟体操、咀嚼（噛むこと）、指の運動などは、手軽にできる脳の活性化法である。

現代社会は便利な反面、自分から求めなければ身体をつかう状況が激減している。脳をしっかり働かせるためにも”からだ”を積極的に鍛え、栄養、睡眠のバランスのとれた日常生活のリズムをつくる必要がある。

脳は身体を動かしているが、逆に、身体を動かすことが刺激となって脳の活動が増す。脳と身体の動きは一方通行ではなく、相互通行である。

すなわち、机に向かって勉強するばかりが脳の性能を高める方法ではない。宮本武蔵に代表される一流の武者たちが、文武両道に励んだことから分かるように、スポーツの練習ばかりが、競技会で好成績をあげる方法ではない。

保健体育科

学習指導計画



保健の学習目標

科学技術の進歩や発展によって豊かで便利になった国民生活であるが、生活環境や生活行動の変化に伴って新たな健康問題が起こってきた。健康に関する考え方や、心身の健康の保持増進するための知識と方法を学び実践する。

個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

保健 年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）
保健	1	共通必修	1	現代高等保健体育 (大修館書店)	
	2	共通必修	1		
学習の留意点	<p>地球を取り巻く環境が年々変化し、人とのコミュニケーション不足という話題も上がっている現在、私たち一人ひとりの意思決定と行動選択が大変重要になってきます。</p> <p>健康を保持増進させるとともに生活習慣病の予防、ストレスの対処法など、知識と方法を学ぶことが必要となってきます。これからの生活がより豊かで意義あるものにするために、個人や社会生活における健康について理解を深め、そして実践に結び付けて行くことが大切になります。</p>				
単元	1 年			2 年	
前期	4	I 現代社会と健康			III 生涯を通じる健康
	5	(1)健康の考え方 国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち 適切な意思決定や行動選択			
	6	(2)現代の感染症とその予防			
	7	(3)生活習慣病などの予防と回復			
後期	9	(4)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 喫煙、飲酒と健康			(2)労働と健康 ・労働災害や職業生活
	10	薬物乱用と健康			
後期	11	(5)精神疾患の予防と回復 精神疾患の特徴 精神疾患への対処			IV 健康を支える環境づくり (1)環境問題 (2)食品衛生 (3)医療制度および医療機関
	12	II 安全な社会生活			
	1	(1)安全な社会づくり			
	2	事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、 交通安全			
	3	(2)応急手当 応急手当の意義、 日常的な応急手当 心肺蘇生法			
評価の方法	定期考査や課題をもとに、総合的に評価する。				

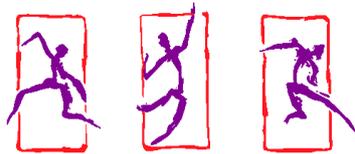


本校の図書館にはさまざまな分野の書籍が豊富に揃えられています。
スポーツ関連・様々な白書類・医学・生理学・社会学・心理学・環境衛生関連など保健授業で必要な資料は全てカバーされています。
課題研究や疑問点を解決するために図書館を利用することを勧めます。

保健を学ぶにあたって

- ①健康や安全に関する問題を科学的に捉え、自分の生活と関連させて考えることができるようにする。
- ②自分の生活様式・習慣・時間・人生の中での段階（高校時代は心身の発達期にある）に応じた、様々な危険因子についての正しい対応について学び、行動を評価・判断する事が出来るようにする。
- ③新たな知識や理解を基に科学的な健康観を持ち、自分自身の生活に取り入れ変容させる。

以上のような観点から、自己の課題を意識し学習していきます。具体的には、各単元について学習を行い、2学年後半からは課題学習に取り組み、発表授業を行います。



◆教科学習と進路選択の関係

『保健』は人間が健康な生活を営むために必要である基本的な知識と方法を身につけ、実践していくための教科です。

保健の分野をさらに突き詰め活用していく進路として、医学・心理学・環境衛生学・看護学・生活科学・スポーツ学・教育学などがあります。これからさらに進むと予測される高齢化・ストレス社会、地球温暖化、バイオ産業の普及、などに伴い、職業・研究としての需用も多くなり、重要な分野となるでしょう。



“保健の達人”への道

「心の免疫を高めよう」

私たちが普段の生活の中で風邪をひき、こじらせてしまうと気管支炎や肺炎などを併発することがあるように、私たちのこころも風邪をひき、時には重症になることがあります。

人間のこころの働きは、脳の表層にある大脳新皮質の前頭葉にその座があると言われていています。そして前頭葉のうちでも新皮質全体の30%を占める前頭前野と呼ばれる領域が人間のこころを司り、意欲、創造性、人とのコミュニケーション、将来を想う事による感情などその人らしいこころの働きを受け持っています。

からだの風邪は雑菌やウィルスに感染し、喉や鼻に炎症をおこすことによって始まりますが、こころの風邪は不安や葛藤、悩みや挫折、人間関係の悪化などが引き金となって起こります。人間は大脳新皮質の前頭前野を発達させ、将来を思うという特別な能力を持ったがために悩み、不安になり、葛藤するのです。

緊張が強く作用したり、長期間に渡って続くと、喜怒哀楽という情動を司る大脳辺縁系、体温や食欲など生命維持の中核である間脳に影響を与え、摂食障害、不登校、ひきこもりなどさまざまな症状が現れ、時には医療が必要になるのです。

からだの風邪をひかないようにするには、普段から栄養や睡眠を十分にとり、手洗いやうがいなどの健康習慣を身につけることが大切です。同様に、

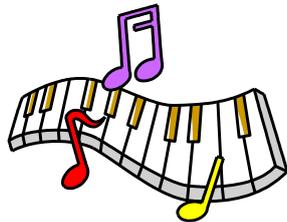
こころの風邪をひかないようにするためにはこころの抵抗力をつけ、ストレスやフラストレーションに対する耐性を高めることが大切です。そのためのポイントをあげてみましょう。

- ① プラス思考：全てのことをポジティブに捉える習慣をつける。失敗したらどうしようというのではなく、「これから先は必ずよくなる」と成功した自分を思い浮かべる。
- ② 持続する意欲・意志：意欲は待っていれば出てくるものではありません。意欲を持つ。物事に集中するという精神の働きは生まれつきのものではなく、環境や習慣によって形成されるところが大きいのです。意欲を持つ訓練をし、それを持続させる努力をすることが重要です。
- ③ 生きがい：家族や友人を大切に思い、周りの意見を受け入れ、自分について知る。
また、芸術やスポーツなど苦しいときに自分を支えてくれる「生きがい」を持つ。

日比谷高校での生活は非常に忙しく、同時に沢山の事をこなさなければなりません。時には自分の能力に限界を感じたり、将来が不安になったりすることがあるかもしれません。日頃からこころの免疫力を高め風邪をひかないように努力してほしいと思います。

芸術・音楽科

学習指導計画



教科：芸術

科目：音楽ⅠⅡⅢ

音楽の学習目標

音楽は人生の中でとても豊かな時間を提供してくれるもの。そして最良の友となることができる芸術です。

音楽は心や感情といった、なかなか言葉だけでは表現しきれないもの、形にすることができないものを、「サウンド(音)」によって表現することができます。

心のアンテナを磨き、感度を高め、音楽を通して様々な命の表情が表現されていることを感じ取りましょう。そして、そのような表情を自らも表現することができればもっと楽しい時間を味わうことができます。アンサンブルではその楽しい時間を仲間と共有することができます。音楽の授業ではそれらの基礎を学習します。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）
音楽Ⅰ	1	共通 必修選択	2	ON! 1 (音楽の友社)	Music Note 基礎から学ぶ 高校音楽(啓隆社)
音楽Ⅱ	2	共通 必修選択	2	MOUSA 2 (教育芸術社)	交響曲第九番「合唱終曲」 原語カナ付き (音楽の友社)
音楽Ⅲ	3	共通 自由選択	2	Joy of Music (教育芸術社)	コールユーブンゲン

学習の留意点

音楽では「表現」と「鑑賞」の2大領域があります。「表現」では、独唱や少人数によるアンサンブル、合唱といった活動を中心に取り組みます。個々の発声技術や歌唱力を向上させ、ハーモニーやリズムを感じ取り、他者と協調してアンサンブルする力を伸ばしましょう。また、基礎的な音楽理論(楽典)や音楽史の学習も音楽を深く理解する上では大切なことです。「鑑賞」では様々な時代や国の優れた作品に触れ、多様な音楽のあり方を理解します。また、現代の音楽への理解としてアカペラやジャズ等のポピュラー音楽も学習します。

単元

1 年

前期

- ・校歌 ・発声の基礎
- ・芸術歌曲 イタリア歌曲
- ・合唱祭に向けて 混声四部合唱曲 (ハーモニー)
- ・楽典 (音名・音符・拍子・リズム)
- ・ボディパーカッション

後期

- ・リコーダー実習
- ・楽典(音程・音階・調・コード)
- ・日本歌曲
- ・無伴奏混声合唱曲
- ・世界の様々な音楽 等

評価の方法

実技試験(独唱試験・アンサンブル発表)・平常点(取組)
鑑賞レポート(ノート)・楽典試験を総合して、評価します。

◆音楽家への道

良い音楽を聴くと心が癒されます。音楽を自分で、もしくは仲間と一緒に演奏すると、とても楽しくて幸せな時間を他の人と共有することができます。たとえば演奏が少々下手でもね。これがアマチュア音楽家の場合は、生活の中の潤いとして大きな喜びとなります。すばらしい人生の楽しみ方だと思います。

ところが音楽を職業とする場合、つまり演奏したり作曲したりすることによって収入を得ようとする場合は楽しいだけでは済まされません。高度な技術を習得し、聴衆に大きな満足を与えることができるようになるためには、日々の厳しいトレーニングと才能、そしてチャンスが必要です。音楽大学を出てプロの音楽家として経済的自立ができるようになるのは千人中で数人位だと言われます。

その他の音楽の仕事としては、音楽教師、音楽マネージメントや音響エンジニア、楽器・楽譜関係等々、多様な仕事があります。



推薦図書・参考書

科学的に発声法を勉強したい人には

- 「美しい発声法」マクロスキー著、音楽之友社
- 「声がよくなる本」米山文明著、主婦と生活社TODAY BOOKS

音楽家への道を目指したい人には

- 「ボクの音楽武者修行」小澤征爾著、新潮文庫 等の音楽家の著作

音楽会や演奏家の情報を知りたい人には

- 「音楽の友」(月刊誌)、音楽之友社

音楽を学ぶにあたって

○音楽を本当に楽しめるようになるためには、「聴く」ということがとても大切です。このことは鑑賞の時だけではなく、演奏する時も大切です。自分の音を客観的に聴き、全体の音を聴き、正しいサウンドになっているかを瞬時に判断しながら進めていくことが必要だからです。

「聴くことができる」人間になりましょう。

○「表現する」ことを恥ずかしがらないで、心を解放し、のびのびと行おう。みんなでアンサンブルをしたり、演奏を他人に聴いてもらうことが、むしろ喜びになるはずですよ。

○やはり基礎基本は大切。努力と工夫が求められます。

教科学習と進路選択の関係

○芸術・音楽は豊かな心を培うための教科です

音楽Ⅰ・Ⅱでは、基礎的な教養として様々な音楽について広く学習します。その中で感性を高め豊かな心を培っていきます。演奏技術や理論について基礎的な学習をします。

○大学進学とのかかわり

音楽Ⅲでは、おもに音楽系の大学等への進路を意識した学習内容となります。高度な楽典やソルフェージュを中心に、独唱・独奏などの発表の機会もつくっていきます。

ただし、ピアノや声楽等の専門的な学習については、早期に専門の先生に師事することが絶対不可欠となります。

“音楽の達人”への道

I. 音楽の達人～鑑賞編～

○ここで感じよう！

作曲者が何を感じ、何に感動してその曲を作ったのか、そして演奏者がその作品にどう共感して実際の「サウンド(音)」を創造しているのかを、全身をアンテナにして音楽を受けとってみよう。そうすれば音の波間に「何か」を感じ取ることができるはず。

音楽は鑑賞者にも豊かな想像力が求められます。

そして、感じ方は一人一人違って良いのです。例えば、ベートーベンの交響曲第5番を聴いて、必ずしも「運命が扉をたたく音」だと思わなくても良いのです。静かな第2楽章のほうが好きだと思っても良いのです。大切なのは「自分のここで感じる」こと。

○生演奏を聴こう！

テレビやFMラジオ、CDやDVD等でも音楽は聴けますが、それらはいわば「音楽の缶詰」。新鮮さやダイレクトに心に届く感動は生演奏にはかないません。実際にコンサートホールで音楽を聴くこと

II. 音楽の達人～表現編～

○自分の音を聴くこと

ピアノでもコーラスでも演奏している瞬間に、自分の音が自分でイメージしたサウンドと相違ないか、他の演奏者とのアンサンブルがうまくいっているかどうかを常に冷静に聴く(聞こえるではなく!)ことが良い演奏をするための最低条件です。

特に合唱の場合は「ハーモニー」や「リズム感」が合っているかどうかを感じながら演奏することがとても大切です。くれぐれも「つられないように耳をふさいで歌う」なんてことにならないように！

○練習方法を工夫しよう

最初は誰でもできません。練習することによって様々なことができるようになっていくものです。

この「できない状態」から「できる状態」に持っていくことが「練習」です。漠然と回を重ねるだけでなく、どこができないのかを分析したり、それではどういう練習をしたら効果的なのか、を考えたりすることがとても大切です。録音を積極的に利用することも、とても良い勉強になります。

芸術・美術科

学習指導計画



教科：芸術
科目：美術ⅠⅡⅢ

美術の学習目標

作品制作を通して造形技術・能力の基礎を身につけ、制作の喜びを味わう。同時に、自己の美的感性を培い、柔軟で清新な構想力を養うことによって、豊かな自己表現の能力を獲得する。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）
美術Ⅰ	1	共通 必修選択	2	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）	
学習の留意点	1年では造形表現の基礎力となるデッサン力をしっかり身につけ、その発展的学習として油彩による絵画表現・デザインによる伝達表現・立体による空間表現を学ぶ。また、表現の基礎をデッサンで身につける。				
月	1年				
前期	4	静物デッサン（筆箱を描く）			
	5				
	6	デザイン（カード制作） （ポスター・ロゴ入りチラシ制作）			
	7 9				
後期	10	油彩画制作（秋・冬のテーマよりグループ制作）			
	11				
	12				
	1 2	立体制作（石膏から削り出し） 			
評価の方法	評価は作品に重きを置くが、スケッチ・ワークシート、授業態度すなわち制作態度・制作過程も評価の対象とする。 高校生として身につけてほしい美術の基礎力を、デッサン、絵画、デザイン、彫塑の制作を通して学んでいくので、基礎的スキルが作品にしっかりと反映されていることが大切である。				

美術を学ぶにあたって

(1) 美術が好きであること

まず問われるのは美術に対する興味関心の強さである。これから美術を学んでいく人には真に美術が好きであってほしい。そして美的な感覚に対して敏感であってほしい。授業にのぞむときもそうだが、普段から自分の審美眼を鋭くし、感性のアンテナを高くしてほしい。

(2) 基礎をしっかりと学ぼう

どんな分野であっても、自分の持っている能力を十分に伸ばしていくためには、基礎力をしっかりと身につけることが不可欠である。美術であれば基礎力とは、遠近法、形や色の感覚、描画技法、画材に関する知識などであるが、それらは主に実際の制作を通して身につけていくものである。授業の中でそれらをしっかりと学んでほしい。

(3) 基礎的訓練から個性的表現へ

基礎力の代表デッサンの本質とは、対象の観察を徹底していき、その臨界点を越えてひとつの極点に到達することだ。この極点こそ「個性」と名づけられるものだと思う。基礎的訓練を突き抜けたところに真に「個性的」な「表現」が現れてくるのである。自分らしさが表現できる地点に到達し、さらに個性を磨いていけるようにがんばろう。



◆教科学習と進路選択の関係

君たちの中に、将来、画家やデザイナー、建築家等、表現者になりたいという人がいたとしよう。美術の世界というものは周知のように専門分化している。なるべく早く自分の好きな、自分はこれだという分野を決めたほうが、実技試験の準備も早く始められるわけであり、美術系大学受験には有利である。何といっても枚数を描かなければ実技の力はつかない。これは音楽や書道、さらにスポーツでの練習の大切さと同じである。

ところが、美術系に進みたいのだが、自分はどんな分野に向いているのかわからない、またはやりたいことが多すぎて一つに絞れない、という人もいると思う。まずは授業で学ぶ絵画とデザインの課題のどちらに興味を持たかかをヒントにして欲しい。

美大で学べる分野は具体的には日本画・油絵・彫刻・デザイン・工芸・映像・建築・芸術学などである。特にデザインの分野が細分化されている。美大の卒業制作展を見に行ったり、美大のパンフレットの解説や参考作品を見比べたりして、自分の進む方向を絞り込んで欲しい。また美術予備校のパンフレットの参考作品も良く見て欲しい。美大入試に求められる実技の水準と傾向がわかる。

もちろん大学へ入ってから、あるいはその専門家としての道を歩き始めてからも、迷いは生じるものである。卒業後、専門を変更して成功した人も少なくないし、まして今や価値観が多様化・流動化している時代である。見習い職人は悩んであたりまえ、どのように悩むかが問題となる。

“素描の達人”への道

子供の頃は、絵が好きでよく描いていたのに、小学校高学年になると急に興味を失ってしまう人が結構多いものである。

一つの理由として、幼いうちは何に対してもノビノビと力強く自由に表現することができたのに、物心がつく頃になると、例えばリングは赤色、レモンは黄色というような既成概念が邪魔をして、自分の表現が思うようにならず、描くことを断念してしまうということがあげられる。また、技術面で形の遠近法的捉え方や色彩、明暗の調子の関係に不整合な点を見つけてしまうと、絵を描く意欲が減退してしまうということも考えられる。

美術においては、『見る』のではなく『観る』ことが重要となる。上手に描こうとして、自分なりに形を『こしらえて』しまっただけでは対象をしっかりと『観て』正確にデッサンしたことになる。『思いこみ』としての『見方』を排し、自分の今引いた線は本当に正確か、ギリギリのところまで疑い抜くことができるようになれば、自然によりデッサンを創り出すことが可能となる。

家族や友人と街や山野を散策しても、ただ漫然と歩くのではなく、風を感じ、鳥のさえずりを聞きな

がらしっかり情景を観察することができれば心に響くこととなり、もし、余裕があり立ち止まってスケッチすることで、手を動かすことがかなえば、頭の奥深く印象を留めることもできるであろう。

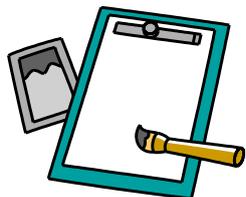
印象派の巨匠セザンヌはモデルの女性に、「リングのように動かずにポーズを保て」と命じたが、ロダンは、アトリエの中を自由に歩かせてクロッキーをし、創作に生かしたという話が伝わっている。時と場合により、デッサンの方法や技法も変化するものの、対象をしっかりと観察し、真剣に表現することが重要であることに変わりはない。

また、温故知新という言葉どおり、普段から良い物に接する機会をできるだけ多く作りたい。博物館・美術館において開催される企画展や常設展で名作を鑑賞することはもちろん、日常生活の中でも優れた工芸品を実際に使用して、心豊かな生活を送りたいものである。

芸術・書道科

学習指導計画

書道の学習目標



教科：芸術
科目：書道ⅠⅡ

書道の諸活動を通じて、生涯にわたり書を愛好する心情を育成することが大きな目標です。具体的には、表現と鑑賞の能力を伸ばし感性を高めるなかで、書の文化や伝統についての理解を深め豊かな情操を養います。

「書道」とは単に「字を習う」のではなく、中学までの「書写」で学習したことを発展させ、主体的に学び、考える態度を養う中で自己を表現し、生活に生かす力を身につける科目です。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）
書道Ⅰ	1	共通 必修選択	2	書Ⅰ（光村図書）	
学習の留意点	<p>硬筆・毛筆等を使用して、ただ文字を書くのではなく、自ら考え、課題を解決する学習活動である点において中学までの「書写」の授業と同様である。したがって、指導者が「手本」を書いたり朱墨で「添削」する機会は少ない。芸術科の「書道」の作品制作では書写能力に加え、書くことで自己を表現する能力が要求される。技術がいくら高くても、それが表現の目的に即していなければ、意味をなさない。また、鑑賞活動においては、普遍的な書之美を理解すると共に、様々な価値観を共有することで、自己を見つめ、他者を認める態度を身に付けるよう心掛けたい。</p>				
月	1 年				
前期	4	導入 「書道」とは何か			
	5	用具・用材について			
	6	書の作品と表現について			
中期	7	漢字の書の学習			
	8	漢字の古典の臨書と鑑賞（含篆刻） （楷書）			
	9	（行書） （隸書）			
後期	10	漢字仮名交じりの書の学習			
	11	日常生活の中の書（年賀状制作）			
	12	※全日本高等学校書道コンクール出品			
評価の方法	1	仮名の書の学習			
	2	仮名の古典の臨書と鑑賞 （平仮名） （変体仮名） 仮名創作（短冊）			
評価の方法	<p>定期考査を行わないので、毎回の授業での活動が評価の対象となる。 毎時間の目標（＝評価の基準）を明確に設定し、個々の上達度、意欲・関心・態度を授業内の活動から計り総合的に判断する。 提出課題の作品をポートフォリオとして活用し、書作品としての客観的な評価ではなく、個々の達成度や学習の過程を充分考慮した上で評価をする。 各年度最低一度、書を展示する美術館を観覧し、そのレポートをもって鑑賞領域の評価に加える。</p>				

感じる－考える－表現する

先ず、高校での「芸術」は、単なる作業ではないことを、認識して欲しい。結果として作品が出来上がること（音楽の場合は歌ったり、演奏したり出来ること）にだけに目を向けるのではなく、そこに至るまでに何をどうしたかも見逃すことは出来ない。

芸術科の授業とは他教科同様、あくまで学習活動の場である。特に芸術科目の学習とは、「感じる」こと、「考える」こと、「表現する」ことが相互に関連する中でそれぞれのチカラを高めてゆくものである。そのためには、これら三つを意識的にかつ主体的に行わなければならない。

考えてみれば、この三つのチカラは人が人として成長してゆくのに欠かせないものではないだろうか。大げさなことを言えば、人類の進化の歴史そのものかもしれない。

通常、人として生きている上で、何も感じず、考えず、表現しない、ということはあるまい。しかし、深く意識する機会はあまりない。だからこそ、「芸術」の授業でしっかり向き合ってもらいたい。「大人になる」ということはそれらを深めることに他ならず、人としての深さが芸術としての深さにつながる。他の教科も含め、実は、学校の授業で学ぶ目的はそこにある。

「書道」の授業を通して、「感じる」「考える」「表現する」態度を身に付け、その能力を高めよう。

◆先輩大書家

みんなの先輩に有名な書家がいるのを知ってる？尾上柴舟（1867～1957）という人で、尋常中學校時代の第19回卒業（明治28年卒）。東大文学科に進み国文学者、書家、詩人、歌人として名を残した人です。書道では仮名の大家として知られ、昭和に活躍した書家で師事した人も少なくありません。高校の書道の教科書も手掛けています。キミも第二の尾上柴舟を目指そう！

「よむ」から「みる」、「かく」から「つくる」へ

日常生活で字を書く目的は、内容を伝えることだろう。そのためには読めなくては意味をなさない。ところが、書道では、読めることよりも、見て伝わるのが重要になる。そのためには、表現力に磨きをかけて、ただ書くのではなく、見た人に何かを感じさせる作品をつくることに努めたい。

教室を出よう！書と出会おう！

書道は作品を書くだけでなく、鑑賞することも、欠かせない活動の一つである。授業の中では、教科書等の資料を使い、名品を鑑賞してもらうが、やはり実物にはかなわない。

幸いにして、都内には書作品を有する、美術館・博物館が多数ある。教室以外にも鑑賞の場を求めて、印刷や画像にはない生の感動を是非、味わって欲しい。



書と出会う都内の主な美術館・博物館

出光美術館（丸の内）、永青文庫（目白台）、五島美術館（上野毛）、
静嘉堂文庫（世田谷区岡本）、泉屋博古館（六本木）、
台東区立書道博物館（根岸）、東京国立博物館（上野公園）、
根津美術館（南青山）、島山記念館（白金台）、三井記念美術館（日本橋室町）

想像力は創造力

「書道」の「書」とは単に「書く」という意味ではなく「書(ショ)」という表現芸術を意味します。

「書」には「臨書」と「創作」という実践形態があります。「臨書」とは古人の「書いた」ものを再表現する行為ですが、書き手の想いが込められたとき「臨書作品」となります。「創作」とは自分なりに表現の工夫を凝らし、作品を制作することです。いずれも、「美」を創造する行為ですが、やみくもに何枚も書けば達成するものではありません。

「書」の実践に限らず、日常生活・勉強・仕事…どの様な場面でも、考え様によっては「創造」はしているのです。もっと広く考えれば、自らの人生は自ら創造する、とも言えるでしょう。そのことに気付き、自分のイメージどおりつくり上げることが出来た時、自分らしく生きていることを実感出来るはずです。

そのために不可欠なのが「想像力」です。イメージが無ければ何も形になりません。「想像力」とは形の無いものを頭の中に描く、という力ですが、物理的なモノだけではなく、人の気持ちを慮ることも含まれるのです。

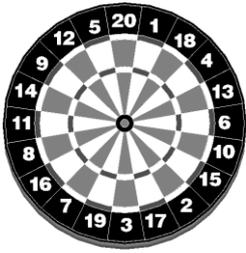
「書の道」を歩むには、日頃から様々なことに関心を持ち、絶えず想像力を培っていなければなりません。そうでなければ、「書」ではなく、ただ「書いた」だけの、味気ない「字」になってしまいます。

「想像力」は人が生きる上での実践力で、何かを実現する為の無限の「創造力」の源です。

創造することは生きている喜びに他なりません。「書」に接しながら、喜びを味わい、豊かな人生を描く為の想像力を磨きましょう。

英語コミュニケーションI

学習目標



科目：英語コミュニケーションI
履修：1年
共通
3単位

- ・実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。
- ・聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 Unit 1 What can happen in one second?	つなぎ言葉 受け身、不定詞、動名詞
	5 Unit 2 What do superstitions mean to you?	伝聞表現、相づち等のリアクション 助動詞+受け身、現在完了進行形
	6 Unit 3 How can we promote sustainability?	Eメールで使われる表現 分詞の形容詞用法、関係代名詞
	7 Unit 4 What can we learn from native Hawaiians?	時系列に並べるための表現 現在完了形の受け身、過去完了形
	9	1時間は、グループ単位でのプレゼンテーションを行います。様々なテーマに共感したり、一方では問題意識を持ったり、そういった知的好奇心の裾野を広げる時間です。残り2時間のうち1時間は、英語圏のニュースを使って、聞き取りやディスカッションを行います。最後の1時間は、教科書を使って、ディスカッションやライティング活動を行います。
後 期	10 Unit 5 Why do people tell each other stories?	句動詞 SVOC（分詞）、関係副詞（how）、助動詞の過去形
	11 Unit 6 What are the qualities of a good leader?	関連性のある情報を簡潔に伝える表現 分詞構文、関係副詞（where等）
	12 Unit 7 Where will you live in the future?	時間や場所に関する表現 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形
	1 Unit 8 How do cultures and traditions affect teen's lives?	理由、譲歩、時などのつながりを表す表現 関係代名詞（what）、関係代名詞の非制限用法
	2	Performance Test では、事前に質問事項が渡されるので、十分に回答を考えてから臨みましょう。ネイティブスピーカーとの1対1の対話は貴重な時間です。そして、年間4回行われる考査は、かなり広い試験範囲となります。計画的に学習を進める習慣を身に付けましょう。
講 習	土曜講習と夏期講習を実施する。講習は大学入試問題等を扱う機会になる。適切な解答をつくるために必要な語彙や文法の知識、そして制限時間の中で解答する力を身に付けるための貴重な時間です。これらの講習は、自学習の質を高めることにつながるので、積極的に活用すること。	
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回実施される定期考査 ・小テストや課題への取り組み ・プレゼンテーションやディスカッション等の授業内活動 ・パフォーマンス・テスト 	

英語コミュニケーションⅠの学び方

(1) 授業

授業は予習を前提とし、英語力を高めるために様々な活動を行う。授業の中心となる活動は、英語によるプレゼンテーションとディスカッションである。プレゼンテーションの作成にあたっては、教科書本文の内容を理解していることを前提とし、グループによる発表を行う。準備段階では、テーマに関する情報をできる限り調べ、その中で自分が見出した問題意識の視点を盛り込んだ資料を作成する。クラスでの発表では、聴衆の方をしっかりとみて、聞き手が理解しやすい発表となるように心がける必要がある。ディスカッションは、授業のあらゆる場面で行われる活動である。教師から投げかけられる質問に対して話し合うことももちろんあるが、グループでお互いに問題提起をしたり、人によって意見の異なる問題について主張し合う場面も出てくる。

教科書の扱いについても意識を高めてほしい点がある。それは、冒頭でも書いた、予習の徹底である。なぜ予習が必要かといえば、いくつも理由があるが、ここではretelling (再話) を例に挙げる。授業では、あらかじめ自分で読んできた英文の内容を、自分の言葉で言い直す活動を行う。単語や熟語といった小さい単位の表現はもとより、英文全体の流れを整理してはじめて口頭でのretellingが可能となる。retellingはほんの一例にすぎないが、このような授業の中で皆さんに意識をしてほしいことは、ペアでのやりとりやクラス全体への発表といった、英語の運用能力を高めるための授業が展開されるということである。説明を待つのではなく、自ら思考し、適切な場面で適切な英語を使うことのできる力を高めてほしい。授業の質を左右する鍵は、予習の丁寧さと授業に向かう積極的な姿勢である。知的好奇心と適切な緊張感を期待する。

(2) 予習

授業は、教科書本文の内容を、口頭でまとめることができる程度に理解していることを前提として構成されている。事前に指示された箇所のタスクを丁寧に終え、そして、わからない点を明確にして授業に臨むこと。ユニット全体をひとまとまりとして予習することが望ましい。以下は、教科書の予習方法の一例である。予習方法は特別に指定するものではないが、以下の例を参考に自分なりの学習方法を確立してほしい。

- ① まずは教科書を見ないで、音声を使って本文の内容を聞き取る。
- ② わからない単語や表現があっても、類推するなどとにかく本文全体を読み、大まかな内容をつかむ。
- ③ 新出単語や熟語を調べながら、再度しっかりと本文を読む。
- ④ 音声を活用して本文の音読を繰り返し行う。音読の習慣をつけ、個々の単語の発音、語句同士の音のつながり、区切る場所、全体のリズムに注意して、身体で覚えるようにする。
- ⑤ 単語テストの準備をする。

(3) 復習

- ① 授業で学習した内容は、その日のうちに復習する。何も書き込んでいない教科書またはハンドアウト等を読み、本文の内容を理解していることを確認する。
- ② ワークブックを解く。(ワークブックは予習に用いてもよい)
- ③ 本文の内容を理解して、再度音読する。
- ④ 単語テスト、教科書、副教材の新出単語については、必ず復習する。
- ⑤ ユニットごとのテーマを自分で掘り下げ、より多くの適切な情報に触れる。

(4) 小テスト等

各授業で、単語テストをはじめとして、プレゼンテーションで使用するワークシート、考査ごとの提出物等の様々な課題が課される。これらは全て、英語学習の基礎・基本となり、今後の英語力に大きく影響を与える。各自で英語通信を読んで予定を確認し、後悔することのないように取り組むこと。

定期考査 (抜粋)

Q11. What does boredom get people to do in addition to motivating crimes?

Q12. Here are the experiments at the University of Central Lancaster in the UK. Fill in the chart (1) ~ (3) by referring to the examples shown.

Table: "Comparison Between Independent Studies of Boredom"

	Experiment 1	Experiment 2
Procedure	52 people were asked to write down the same group of letters.	(1)
Results	(2)	People who watched the boring video had more unhealthy food.
What can be said from both experiments	(3)	

論理・表現 I

学習目標



科目：論理・表現 I

履修：1年

共通

2展開

2単位

- ・英語でのやり取りを通して、考えや気持ちなどを伝え合ったり、必要な情報を得たりすることができる。
- ・発表活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理的に伝えることができる。
- ・聞いたり読んだりしたことを活用し、論理の構成や展開を工夫しながら意見や主張を書いて伝えることができる。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 Lesson 1 OriHime	スピーチ/時制
	5 Lesson 2 Breakfast Makes Perfect	プレゼンテーション/助動詞
	6 Lesson 3 Cool Japan	ライティング/受動態
	7 Lesson 4 Save Our Planet	ディスカッション/不定詞
	9 Lesson 5 Volunteer Work for What?	ディベート/動名詞
<p>4月～7月にかけて、スピーチの作成・発表を行います。校内選考の上位者は東京都高等学校英語スピーチコンテスト（10月）に出場する予定です。さらに勝ち抜くと、全国高等学校英語スピーチコンテスト（2月）の出場資格を得られます。</p>		
後 期	10 Lesson 6 Another Life I Might Have Had	スピーチ/分詞
	11 Lesson 7 What is Our Greatest Invention?	プレゼンテーション/比較
	12 Lesson 8 Discover Japan	ライティング/関係詞
	1 Lesson 9 Urban Life or Rural Area	ディスカッション/仮定法
	2 Lesson 10 Music Without a Pianist	ディベート/接続詞
<p>12月～3月にかけて、「五領域統合型授業」による高度なサイエンス・コミュニケーション能力の育成の一環として、理数探究基礎で取り組んだ論文の要約(abstract)を英語で作成します。また、その内容をALTに英語で説明します。</p>		
講習	英語コミュニケーション I に同じ。	
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・年間4回実施される定期考査 ・小テストや課題への取組 ・スピーチやディスカッション等の授業内活動 ・パフォーマンステスト 	

論理・表現 I の学び方

(1) 授業

週に2回の授業を①ライティングの基礎力を身に付ける授業と②英語の文や文章についての特徴や決まりについて理解する授業とに分けて行う。①では、論理的かつ説得力のあるパラグラフを書くための第一歩として、一貫性のある論の組み立て方、パラグラフの構造、テーマごとの関連語彙などを学び、ライティングの基礎力を身に付ける。②では、①を達成するために、実際のコミュニケーションに耐えうるライティング力を身につけられるよう、語句や文法事項について正確性と表現力を磨く。

(2) 予習

原則として予習をしてある前提で授業は進行する。授業では、テキストを読むだけでは理解しにくい部分の共通理解を図り、個々が準備してきたものを用いて発展的な活動を行う。より良い授業を作り上げるためには丁寧な予習が必要不可欠である。

①ライティングの基礎力を身に付ける授業

各Unitのねらいを理解し、その目的や読み手に適した文章のOutlineを作る。また、その前段階として、基礎演習となる練習問題を解いておく（詳細は別途英語通信で指示）。

②英語の特徴や決まりについて理解する授業

該当する項目について、教科書及び参考書をよく読み、練習問題を解いておく。また、指示に応じて授業内活動の準備をしっかりと行う。

(3) 復習

①ライティングの基礎力を身に付ける授業

1度書いた文章を、自分自身もしくはペアで見直し、お互いにフィードバックを活かしながら再度推敲してrewriteする。自分の文章を客観的に見直すことで、読み手が誤解なく内容を理解できる文章を書くための論理的な思考力が鍛えられ、ライティング力の向上につながる。

②英語の特徴や決まりについて理解する授業

参考書を上手に使うことがポイントである。授業後に、参考書の該当箇所を再度読み、練習問題を解く。疑問が生じたときは、常に参考書に戻って確認をすること。また、辞書も最大限活用し、単語の意味だけでなく発音や用例・用法等も身につけよう。自立的な学習スタイルを早期に確立させることが重要である。

(4) 小テスト

各授業の冒頭で英語の知識・理解を問う確認テストを行う。これは、英語学習の基礎・基本となり、今後の英語力に大きく影響を与える。英語通信で予定を確認し、常に満点を目指して取り組むこと。

TRY!!

Write a paragraph to describe a friend you admire.

SELF-CHECK

Revise

- Does your topic sentence introduce the main idea of your paragraph?
- Do you describe your friend's appearance and personality?
- Do you give examples of your friend's actions?

Edit

- Do you use adjectives and comparative adjectives correctly?
- Do your subjects and verbs agree?
- Do you use correct capitalization and punctuation?

情報科

学習指導計画



教科：情報
科目：情報 I
履修：1年
共通
2単位

情報科の学習目標

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての理解を深め技能を習得する。
- (2) 情報社会と人との関わりについて理解を深める。
- (3) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (4) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

年間授業計画

科目	学年	履修	単位	使用教科書（出版社）	主要補助教材（出版社）
情報 I	1	共通必修	2	情報 I Step Forward! （東京書籍）	ベストフィット情報 I （実教出版）
学習の留意点	<p>① 情報デザインがコミュニケーション手段であることを理解し、情報デザインによって問題解決ができるようになること。</p> <p>② アルゴリズムを実現するための手段の一つがプログラミングであることを理解し、プログラムによって問題解決ができるようになること。</p> <p>③ データ分析が意思決定の重要な判断材料であることを理解し、データ分析によって問題解決ができるようになること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記①～③を実現するため、コンピュータを活用しながら思考できるレベルまで操作スキルを上げるよう努力すること。 ・ よりよい情報社会にするために貢献できる能力と態度を身につけ、学習したことを日常的にコンピュータやネットワークの利用で生かし実践すること。 				
月	学習單元			学習事項等	
前期	4	❖問題解決			<ul style="list-style-type: none"> ❖ データの収集と整理／ソフトウェアを利用したデータの処理／統計量とデータの尺度／時系列分析と回帰分析／モデル化とシミュレーション ❖ アルゴリズムとプログラミング／プログラミングの基本／配列／関数／探索のプログラム／整列のプログラム ❖ 情報と情報社会／問題解決の考え方／法規による安全対策／個人情報とその扱い／知的財産権／産業財産権／著作権 ❖ コミュニケーションとメディア／情報デザインと表現の工夫／Webページと情報デザイン ❖ デジタル情報の特徴／数値と文字の表現／演算の仕組み／音の表現／画像の表現／コンピュータの構成と動作／コンピュータの性能 ❖ ネットワークとプロトコル／インターネットの仕組み／Webページの閲覧とメールの送受信／情報システム／データベースの仕組み／個人による安全対策／安全のための情報技術
	5				
	6	❖プログラミング			
	7				
後期	9				
	10	❖情報社会			
	11				
	12	❖情報デザイン			
	1	❖デジタル			
	2	❖ネットワーク			
評価の方法	定期考査・課題・実技課題・小テスト・実技テスト・振り返りシートを材料とし、観点に基づいて、総合的に評価する。				

「情報」を学ぶにあたって

○Society5.0

ある見方をすれば、社会は以下の変遷をたどっている。

- 狩猟社会(Society1.0)
- 農耕社会(Society2.0)
- 工業社会(Society3.0)
- 情報社会(Society4.0)

そして、情報社会から、IoT、ビッグデータ、

AIなどの活用を前提とした社会へと転換しつつあり、これらを活用して発展させた新たな社会Society5.0に向かっている。私たちはこの新たな社会を実現するために必要な、情報デザイン・プログラミング・情報セキュリティ・データサイエンスなどを学んでいく必要がある。

○大学進学とのかかわり

現代において情報科の学習は、すべての学びの基礎となっている。各大学に設置されている学部・学科名には「情報」の文字が入っているものが多数ある。また、学部・学科名に「情報」の文字がなかったとしても、学びの前提として「情報」の知識、手法を必要としていることは多い。よって、大学進学後に「情報」そのものや「情報」と関連する内容を研究する学部・学

科はもちろんのこと、他のあらゆる学部・学科において情報科で学んだことが必要になる。

2025(令和7)年度の大学入学共通テストより「情報Ⅰ」が出題科目になりました。さらに国立大学では原則「情報Ⅰ」を課すとしている。

本校では1学年で「情報Ⅰ」が必修修となっている。情報科の授業に意欲的に取り組むことにより、進学後の学びの助力になります。

○プログラミングについて

情報科の授業では、アルゴリズムについて学ぶ。アルゴリズムは「問題を解決するための処理手順」のことで、この「処理手順」を具体的に実現するために「プログラム」が必要となる。プログラムをつくるためには「プログラミング言語」が必要である。

教科書には「Python」についての記述がある。授業内でプログラミング言語「Python」を活用してさまざまな学習を行っていく。

中学校までは、多くの方がビジュアル型と呼ばれるプログラムの製作を学ぶが、高等学校においては文章で命令を入力していくテキスト型のプログラムを学んでいく。授業ではプログラ

ミング言語の基本や演習も実施するが、時間は限られるので、自主的に学習していくことが望ましい。書籍は多数出版されているので、購入することはもちろん、図書館で借りることも可能である。また、インターネット上にも参考となるWebサイトは多数ある。

プログラミングがある程度自由にできるようになると、パズルを解いたり、簡単なゲームを作成したりするだけでなく、データ分析や機械学習といった研究の基礎にもつながっていく。「学習や研究を楽しむ」ことができるようになるためにもプログラミングの力をつけていこう。

○推薦図書

◆人工知能の考え方を学ぶ

『人工知能入門』小高智宏(共立出版)

『チューリングの考えるキカイ』阿部彩芽・笠井琢美(技術評論社)

◆プログラムを学ぶ前に

『アルゴリズムを、はじめよう』伊藤静香(インプレス)

『図解で簡単アルゴリズム』杉浦賢(SoftBank Creative)

『プログラマの数学 第2版』結城浩(Softbank Creative)

◆プログラミング言語「Python」を学ぶ・「Python」で学ぶ

『やさしいPython』高橋麻奈(SoftBank Creative)

『スッキリわかるPython入門』国本大悟・須藤秋良(インプレス)

『Pythonではじめるアルゴリズム入門』増井敏克(翔泳社)

『Pythonで学ぶアルゴリズムの教科書』廣瀬豪(インプレス)

『問題解決のための「アルゴリズム×数学」が基礎からしっかり身につく本』米田優峻(技術評論社)

◆情報科の学習に関するさまざまなことを学ぶ

『図解力アップドリル』原田泰(ワークスコーポレーション)

『現代暗号入門』神永正博(講談社)

『再発見の発想法』結城浩(SoftBank Creative)

◆情報オリンピックに挑戦する

『JOI公式テキストPythonで問題解決』一般社団法人 情報オリンピック日本委員会(実教出版)



上記以外にも統計学、情報デザインやWeb技術に関するものなど、多くの書籍が出版されている。自分の興味や関心に応じて読んでもらいたい。

「SSH入門」科目

SSH 理数探究基礎

学習目標



履修：1年
全員
1単位（1単位）

身近な事象に基づいた探究活動を通して、探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付ける。ガイダンスや分科会での指導・助言を得ながら、多角的、複合的に事象を捉え、探究テーマの設定・仮説検証を進めることで、課題を解決するための基本的な力を養う。課題に対して知的好奇心をもって向かい合い、粘り強く探究し、課題の解決に努め、その成果をポスターにまとめ発表を目指す。

年間授業計画

月	学習単元	学習事項等
前期	4 ガイダンスⅠ（星陵会館）	理数探究基礎の概要説明 理系における研究の進め方 文系における研究の進め方 メンバーと担当教員との顔合わせ 研究テーマ検討 検証方法・研究計画の検討 活動経過報告（夏休み） 中間報告会に向けて
	5 ガイダンスⅡ（星陵会館）	
	6 ガイダンスⅢ（星陵会館）	
	7 分科会①	
	8 分科会②	
	9 SSH特別講演会	
後期	10 分科会③	研究発表とポスター作成の方法 ポスター作成 ポスター発表にむけて ポスターセッションの体験 ポスター発表 ポスター発表 振り返りと自己評価
	11 分科会④	
	12 分科会⑤	
	1 分科会⑥ 中間発表会	
	2 ガイダンスⅣ（星陵会館）	
	3 分科会⑦	
	4 分科会⑧	
発表	研究成果をポスターにまとめて発表をする。優秀なポスター・研究を表彰し、全体発表会にて発表する。	
評価	一年間の探究活動への取組の結果を「観点別ルーブリック評価」に基づき、年度末に5段階評価を行います。	